

○平成29年度第3回港区区政会議に関する意見内容と区役所の対応・考え方

	意見内容	区役所の対応・考え方	担当部会
1	<p>新年度が始まると、自治会(町会)から退会される方が増えます。次期班長が回ってくるからです。</p> <p>地域内に新築マンションができて、マンションごと自治会に入らず、特にワンルームマンションはほとんど入ってもらえません。横のつながり、声かけもなくなります。</p> <p>広報「みなと」の配布で区民としてつながってる程度です。災害時の防災活動や、避難者名簿作成も心配です。地域活動協議会の運営方法を考えるべきでしょうか。</p>	<p>地縁による団体やグループへの加入を促進するため、地域のつながりの基礎となる自治会・町内会などのつながりづくりのための活動(例えば防災・防犯活動など、マンション内での活動を含む)を支援するとともに、近所に住む人同士が集まり、福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになりつながっていることの大切さを感じてもらえるよう、防災訓練などの機会を捉えて啓発を行います。</p> <p>また、若い世代をはじめ多くの人に、つながりづくりの大切さと興味を持ってもらえるよう、広報紙やホームページ等で取組事例などを情報発信します。</p> <p>地域活動協議会については、地域住民に知られるよう認知向上に向けた支援をするとともに、総意形成機能を期待されていることについて、構成団体はもとより、地域住民の理解が深まるよう働きかけます。</p>	全体会
2	<p>いつもいろいろとありがとうございます。</p> <p>やっぱり人口を増やすことが賑わいの元ではないでしょうか。</p> <p>婚活 大正区のリフォームも港区でも可能と思います。</p>	<p>人口減少がまちの衰退の主原因であることは明らかであり、まずは、人口流出を止め流入超過の状態とすることが大切と考えています。</p> <p>特に若い世代に「暮らして楽しい」と感じていただけるように、婚活を含めメディアでも注目を集めるようなイベントや、空き家を改修して面白い店舗とするリノベーションに、公民連携して取り組むことがまちのイメージアップと新しい人の流れを作り出すには有効です。</p> <p>大正区で実践してきた、空き家とDIYを活用したエリアリノベーションの取組については、既に空き家所有者とテナント双方がワンストップで相談できる専門家集団「大正・港エリア空き家活用協議会」を港区・大正区合同で立ち上げ、港区でも空き家物件活用を進めています。</p> <p>人口を流出させず、地域の消費活動が活発になる様、人・金・モノが地域内に循環するようまちの活性化に取り組んでまいります。</p>	全体会

	意見内容	区役所の対応・考え方	担当部会
	<p>(1) 先に開催された福祉部会での(仮称)大阪市子どもサポートネットの構築(案)について</p> <p>① 支援制度が届いていない課題の洗い出しとして、スクリーニングシートは有効なのでしょうか。こういった課題が洗い出されると想定しているのでしょうか？</p> <p>② 支援家庭の経済状況(収入・支出)に立ち入った支援が必要であり、改善計画と進捗管理が必要と思われます。</p> <p>(例)何に支出しているのかの確認(NG:酒、たばこ、携帯電話、賭け事(?))</p> <p>経済支援の改善・確認(1年後/3年後に向けた計画と改善状況)</p>	<p>①については、スクリーニングシートは、子どもが一日の多くの時間を過ごす学校に着目し、学校生活や家庭訪問等で得られた気づきをもとに、チェック項目を標準化して客観的に作成します。学校での気づきを「見える化」して支援につなぐことから、有効なツールであると考えます。</p> <p>また、スクリーニングシートにより子どもの学級や家庭での状況、学校保健や学校事務の情報等を把握することで、子どもの学力や発育、家庭環境や経済状態などから、教育・福祉・健康などの複合的な課題が見えてくるものと考えます。</p> <p>②については、発見された子どもや世帯の課題について、保健福祉分野をはじめとした支援にどのようにつないでいくかが重要であると認識しています。</p> <p>新たに配置されるスクールソーシャルワーカーが中心となってアセスメントを実施し、教育分野・福祉分野から支援の見立てを行うとともに、学校と区役所、地域が連携し、子どもや世帯が抱える課題に対して総合的な支援を効果的に実施します。</p>	福祉部会
3	<p>(2) 事前配布資料C:戦略2-3 歩行や移動の安全性の確保について</p> <p>① 自転車利用の適正化の中で、放置自転車を築港・天保山地区周遊の為の移動手段として再利用できるようにしてほしい。</p> <p>※築港・天保山地区は拠点間の距離があり、移動するのに苦労する。中国でスマホを使用した自転車レンタルのビジネスをTVで紹介していた。</p>	<p>「築港天保山まちづくり計画」においても、築港天保山エリアへの訪問者の回遊性の向上と滞在時間の増加をめざして、モビリティ(移動のしやすさ、移動手段)の導入を記載しています。モビリティの向上には、小型の電気自動車、自転車の活用など多様な方法があるため、技術の進歩なども見据えながら移動ニーズやにぎわいづくりの観点から、具体的な手法も含めて検討してまいります。</p>	防災・防犯部会
	<p>(3) 事前配布資料C:戦略5-4 まちづくりに向けた行政資産等の活用について</p> <p>① 認知症療法として、植木栽培、花の世話等が有効と聞いています。行政資産の中で、花壇や田畑等に使用できないのでしょうか？また将来そういった土地と連携したシニア活用ビジネスを生み出せないかと思えます。</p>	<p>植物そのものや植物のある環境、植物を育てる園芸作業などを、障害者や高齢者などの心身のリハビリテーションに活用する「園芸療法」は、植物の成長を楽しむことで心が動き、花を見て香りを嗅ぐことで「視覚」や「嗅覚」、触れることで「触覚」が刺激され、認知症の人への効果も期待できるといわれています。</p> <p>区役所では、新しいアイデアも含めて、様々な課題の解決に取り組む地域の方々の活動が円滑に進むよう、行政資産の活用という観点からも、必要に応じて関係機関に働きかけを行うなど、公民連携によるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p>	全体会